

## Orientable 3-manifolds fibering over closed surfaces and codimension 2 fibrators

筑波大学 数学系 知念 直紹 (Naotsugu Chinen)

### 1. これまでの経過と結果

$p: M \rightarrow B$  を locally compact ANR 空間の間の proper な写像とする。写像  $p$  が空間  $X$  に対して *approximate homotopy lifting property* (AHLP) を持つとは、任意の  $B$  の open cover  $\varepsilon$  と、 $H_0 = p \circ h$  を満たす 2 つの写像  $h: X \rightarrow M$  と  $H: X \times [0, 1] \rightarrow B$  に対して、写像  $\tilde{H}: X \times [0, 1] \rightarrow M$  が存在して  $\tilde{H}_0 = h$  を満たし、 $p \circ \tilde{H}$  と  $H$  は  $\varepsilon$ -close となるときにいう。proper な写像  $p: M \rightarrow B$  がすべての空間に対して AHLP を持つとき、写像  $p$  は *approximate fibration* という。[CD1] から、写像  $p: M \rightarrow B$  が approximate fibration で  $B$  が path-connected ならば、すべてのファイバーは shape 同値になることが知られている。

$M$  を  $(n+k)$ -manifold、proper な写像  $p: M \rightarrow B$  で各  $p^{-1}(x)$  はある closed  $n$ -manifold  $N_x$  の shape type をもつとする。[D1] と [D4] から、もし  $k \leq 2$  ならば、空間  $B$  は  $k$ -manifold with (possibly empty) boundary になることが知られている。 $k \leq 2$  とき、つぎの問題が考えられる。

**Question.** いつ proper な写像  $p: M \rightarrow B$  が approximate fibration になるか?

Daverman は次のような定義を導入した。closed connected  $n$ -manifold  $N$  が *codimension  $k$  fibrator* (あるいは *codimension  $k$  orientable fibrator*) であるとは、かつてな  $(n+k)$ -manifold (あるいは orientable) から有限次元な空間  $B$  への proper な写像  $p: M \rightarrow B$  で、もし各ファイバーは  $N$  と shape 同値ならば、写像  $p$  が approximate fibration になるときにいう。この 10 年間色々な人々のよって codimension 2 fibrators は研究されてきた。

1 次元球面  $S^1$  は codimension 2 fibrator でないことが知られている。そこで、orientable  $S^1$ -bundle over closed surface を調べてみることにした。[D2, Example 6.1] の中で、Daverman はすべての orientable  $S^1$ -bundle over the torus  $T$  は

codimension 2 fibratorでないことを証明した。もちろん、すべての twisted  $S^1$ -bundle over the Klein bottle  $K$ はcodimension 2 fibratorでないことは知られている。最初につぎのことを示した。

Proposition 1.1.  $N$ を $S^1$ -bundle over the torus  $T$  with obstruction  $b$ とする。このとき、

ある素数 $p$ が存在して、 $p^2$ は $b$ を割る $\Leftrightarrow$  cyclic covering  $N \rightarrow N$ が存在する。

これは[D2, Corollary 6.3]が間違っていることを示している。またすぐにつぎのことがわかる。

Corollary 1.2.  $N$ を $S^1$ -bundle over the torus  $T$  with obstruction  $b$ とする。もしある素数 $p$ が存在して $p^2$ は $b$ を割れるならば、 $N$ はcodimension 2 orientable fibratorでない。

同様な方法から、つぎのことがわかる。

Proposition 1.3.  $N$ を $S^1$ -bundle over the Klein bottle  $K$  with obstruction  $b$ とする。もし $b$ が奇数ならば、cyclic covering  $N \rightarrow N$ が存在する。よって、 $N$ はcodimension 2 orientable fibratorでない。

群 $G$ が hyperhopfian であるとは、かつてな準同型写像  $f: G \rightarrow G$  に対して、もし $f(G)$ が正規群で $G/f(G)$ が巡回群ならば、準同型写像  $f$ は同型になるときにいう。

R.Daverman は次の定理を示した。

[D2, Theorem 6.4].  $N$ をNil structure を持つ向き付け可能な3次元閉多様体で、 $S^1$ -bundle over the torus  $T$ でないとする。このとき、 $N$ は hyperhopfian fundamental group をもつ。よって $N$ はcodimension 2 orientable fibrator になる。

P.Scott の結果から、 $N$ を $S^1$ -bundle over the Klein bottle  $K$  with nonzero obstruction  $b$ とすると、 $N$ はNil structure を持つことが知られている。よって、このDaverman の結果はまちがっていることを示している。よって、以前示したつぎの結果は重要になる。

Theorem 1.3.  $N$ を $S^1$ -bundle over the Klein bottle  $K$  with obstruction  $b$ と

する。もし  $b \neq 0$  が偶数ならば、 $N$  は codimension 2 orientable fibration である。

[D2, Theorem 6.4] が間違っていることにより、もし  $b \neq 0$  が偶数ならば、 $N$  は hyperhopfian fundamental group をもつことはわからない。よって、つぎの問題が考えられる： $N$  を  $S^1$ -bundle over the Klein bottle  $K$  with obstruction  $b$  とする。もし  $b \neq 0$  が偶数ならば、 $N$  は codimension 2 fibration か？

まず最初に次のことを示した。

**Theorem 1.4.**  $N$  を  $S^1$ -bundle over the Klein bottle  $K$  with obstruction  $b$  とする。もし  $b = 2^r$  ならば、 $N$  は codimension 2 fibration である。

Proposition 1.1 から次の予想が考えられる。

**Conjecture 1.5.**  $N$  を orientable  $S^1$ -bundle over the Klein bottle  $K$  with obstruction  $b$  とする。

(1) もしすべての素数  $p \geq 3$  に対して  $p^2$  は  $b$  を割れないならば、 $N$  は codimension 2 fibration である。

(2) もしある素数  $p \geq 3$  に対して  $p^2$  は  $b$  を割るならば、 $N$  は codimension 2 fibration でない。

## 2. 証明の方針

**Proposition 1.1 の略証明.** ( $\Rightarrow$ )  $N$  を  $S^1$ -bundle over  $T$  with positive obstruction  $b$  とし、ある素数  $p$  が存在して  $p^2$  は  $b$  を割るとする。すると  $H_1(N)$  は  $Z \times Z \times Z_b$  と同型になることが知られている。まず、2つの全射な準同型  $d_1: Z \rightarrow Z_{p^2}$  と  $d_3: Z_b \rightarrow Z_p$ 、単射な準同型  $k: Z_p \rightarrow Z_{p^2}$ 、trivial な準同型  $t: Z \rightarrow Z_{p^2}$  が存在する。この準同型の合成を  $r = d_1 \times t \times (k \circ d_3): Z \times Z \times Z_b \rightarrow Z_{p^2}$  とする。この全射を使って、 $\text{Ker}(r \circ h)$  から導かれる  $p^2-1$  cyclic covering  $\theta: N(1) \rightarrow N$  が得られる。ここで  $h: \pi_1(N) \rightarrow H_1(N)$  は Hurewicz 準同型とする。あとは、 $N(1)$  が  $S^1$ -bundle over  $T$  with obstruction  $b$  であることを示せば良い。

( $\Leftarrow$ ) 省略  $\square$

**Proposition 1.2 の略証明.**  $N$  を orientable  $S^1$ -bundle over  $K$  with odd obstruction  $b$  とする。すると  $H_1(N)$  は  $Z \times Z_4$  と同型になることが知られている。

よって、 $((p_N)_* \circ h)^{-1}(Z \times 0)$  から導かれる 4-1 cyclic covering  $\theta : N(1) \rightarrow N$  が存在する。ここで  $h : \pi_1(N) \rightarrow H_1(N)$  は Hurewicz 準同型で、 $p_N : N \rightarrow K$  は射影とする。あとは  $N(1)$  が orientable  $S^1$ -bundle over  $K$  with obstruction  $b$  であることを示せば良い。□

$N$  を closed orientable manifold とする。proper 写像  $p : M \rightarrow B$  が  $N$ -Like であるとは、各ファイバーが  $N$  と shape 同値のときにいう。proper 写像  $p : M \rightarrow B$  の mod 2 continuity set  $C'_p$  とは

$$C'_p = \{x \in B : x \text{ の近傍 } U \text{ と shape retraction } R : p^{-1}(U) \rightarrow p^{-1}(x) \text{ が存在して、すべての } x' \in U \text{ に対して } \deg\{R|_{p^{-1}(x')} : p^{-1}(x') \rightarrow p^{-1}(x)\} = 1 \in \mathbb{Z}_2\}$$

と定義する。

つぎの Lemma が Theorem 1.4 の本質的な所である。

**Lemma 2.1.**  $N'$  を orientable  $S^1$ -bundle over  $T$  with obstruction  $4b$ 、 $N$  を orientable  $S^1$ -bundle over the Klein bottle  $K$  with obstruction  $b$  とする。さらに、すべての素数  $p \geq 3$  に対して  $p^2$  は  $b$  を割れないとする。もし次の条件を満たすならば、 $N$  は codimension 2 fibration である。

(☆) もしすべての orientable 5-manifold からの  $N'$ -like 写像  $p : M \rightarrow B$  で  $p$  の mod 2 continuity set が  $B$  と一致するならば、 $p$  が approximate fibration である。

**Theorem 1.4 の略証明.**  $b=2^r$  のとき、orientable  $S^1$ -bundle  $N'$  over  $T$  with obstruction  $4b$  が Lemma 2.1 の条件(☆)を満たすことを示せば良い。□

## REFERENCES

- [C1] N. Chinen, *Finite groups and codimension-2 fibrations*, Topology Appl. To appear.
- [C2] N. Chinen, *Manifolds with finite cyclic fundamental groups and codimension 2 fibrations*, Topology Appl. To appear.
- [C3] N. Chinen, *Products of manifolds with nonzero Euler characteristic and codimension-2 fibrations*, preprint.
- [CD1] D. Coram and P. Duvall, *Approximate fibrations*, Rocky Mountain J. Math. 7 (1977), 275- 288.
- [CD2] D. Coram and P. Duvall, *Approximate fibrations and a movability condition for maps*, Pacific J. Math. 72 (1977), 41-56.

- [D1] R.J. Daverman, *Submanifold decompositions that induce approximate fibrations*, *Topology Appl.* **33** (1989), 173-184.
- [D2] R.J. Daverman, *3-manifolds with geometric structure and approximate fibrations*, *Indiana University Math. J.* **40** (1991), 1451-1469.
- [D3] R.J. Daverman, *Hyperhopfian and approximate fibrations*, *Compositio Math.* **86** (1993), 159-176.
- [E] D.B.A. Epstein, *The degree of a map*, *Proc. London Math. Soc.* (3) **16** (1966), 369-383.
- [H] J. Hempel, *3-manifolds*, *Ann. of Math. Stud.*, No.86, Princeton Uni. Press, Princeton, NJ, 1976.
- [J] W. Jaco, *Lectures on Three Manifolds Topology*, *Conference boards of Math.*, No.43, 1980.
- [M] J.R.Munkres, *Elements of Algebraic Topology*, Addison Wesley Publ. Co., New York, 1984.
- [MS] S. Mardesic and J. Segal, *Shape theory*, North-Holland Publishers, Amsterdam, 1982.
- [S] E.H. Spanier, *Algebraic topology*, (McGraw Hill, New York, 1966).
- [Sc] P. Scott, *The geometries of 3-manifolds*, *Bull. London Math. Soc.* **15** (1983), 147-238.

E-mail : naotsugu@mail.wics.ne.jp